

教科	芸術	科目	音楽 I	担当	
履修学年	1年	単位数	2	履修区分	普通科(選択 必履修)
教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)				
副教材等					

1 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広くかかわる資質・能力を育成する。

2 学習評価

評価の観点		科目の評価の観定の趣旨
A	知識・技能	【知】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的な背景などのかかわり及び音楽の多様性について理解している。 【技】創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
B	思考・判断・表現	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことのかかわりについて考え、どのように表すかについて表現系をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞いたりしている。
C	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3 全体計画

期	月	内容の まとめり	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法	
					A	B	C			
前 期	4	歌唱	曲にふさわしい発声で歌おう	校歌	○	○	○	A 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 B 音楽の要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 C 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み 演奏 課題取り組み	
				Ave Maria						
				「ヴォイス・トレーニング」他						
	6	歌唱	外国語の歌に挑戦 イタリア歌曲 ドイツ歌曲	Caro mio ben	○	○	○	A 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的な背景との関わりについて理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱で表している。 B 音楽の要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 C 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み 演奏 課題取り組み	
				'O sole mio						
				野ばら Ich liebe dich						
	6	合奏	リズムアンサンブルに挑戦	Plymouth Rock	○	○	○	A 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な奏法、技能および他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表現している。 B 音楽の要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 C 曲想と手拍子や足踏み、コップや机を打つ音色や奏法との関わりおよび他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み 演奏 課題取り組み	
				Clap, Tap with CUPS!						
				ソルフェージュ (楽譜の読み方・書き方)						
	前期中間考査									
	5	6	器楽	ギターを弾こう	第3の男のテーマ	○	○	○	A 曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な奏法、技能を身に付け、器楽で表している。 B 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 C 曲想と歌唱やギターの音色や奏法とのかかわりについて関心を持ち、主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み 演奏 課題取り組み
					日曜日の使者					
9		歌唱(合唱) 器楽(合奏)	文化祭に向けた取り組み	合唱	○	○	○	A 創意工夫を生かした歌唱表現や器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい発声や奏法および他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、表現している。 B 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 C 曲想と歌唱や器楽の音色や、奏法とのかかわりについて関心を持ち、主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み 演奏 課題取り組み	
				器楽アンサンブル						
9	鑑賞	オペラを聴こう	オペラ『カルメン』	○	○	○	A 音楽の特徴と文化的・歴史的な背景、他の芸術との関わりについて理解している。 B 音楽を形作っている諸要素を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 C 音楽の特徴と文化的・歴史的な背景、他の芸術との関わりについて関心を持ち、主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業への取り組み 課題取り組み		
前期末考査										

後 期	9 5 11	歌唱	日本歌曲を 味わおう	この道 むこうむこう 小さな空	○	○	○	<p>A 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>B 音楽の要素を知覚し、それらの動きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている</p> <p>C 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>授業への取り組み</p> <p>演奏</p> <p>課題取り組み</p>	
		器楽鑑賞	和楽器に挑戦 箏、唱歌	初段 六段の調べから 箏曲 乱れ(乱輪舌)	○	○	○	<p>A 曲想と箏の音色や奏法との関わり、及び箏を使った様々な表現形態による楽器表現の特徴について理解している。</p> <p>B 箏の音楽を形作っている要素を知覚し、それらの動きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっているとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</p> <p>C 曲想と箏の音色や奏法とのかわりについて関心をもち、主体的・協働的に器楽・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>授業への取り組み</p> <p>演奏</p> <p>課題取り組み</p>	
		創作	旋律の雰囲気を変 化させよう	星に願いを 他	○	○	○	<p>A 旋律の響き、音型などの特徴および構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。</p> <p>B 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの動きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。</p> <p>C 旋律の響きや音型などの特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>授業への取り組み</p> <p>演奏</p> <p>課題取り組み</p>	
	後期中間考査									
	11 5 2	創作	作詞・作曲に 挑戦	コード進行をもと にメロディーを作 ろう (作詞をしよう)	岩手県作詞作曲コ ンクール応募作品	○	○	○	<p>A 音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴および構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。</p> <p>B 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの動きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。</p> <p>C 旋律の響きや音型などの特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>授業への取り組み</p> <p>演奏</p> <p>課題取り組み</p>
		鑑賞	音楽を形 作っている 要素に注目 しよう	交響曲第9番 《合唱付き》か ら第4楽章		○	○	○	<p>A 交響曲第9番の曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、詩との関わりについて理解している。</p> <p>B 音楽を形作っている諸要素を知覚し、それらの動きを感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</p> <p>C 交響曲第9番の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>授業への取り組み</p> <p>演奏</p> <p>課題取り組み</p>
		アンサンブル	アンサン ブルをしよう	歌唱・器楽	サザエさん 美女と野獣 見上げてごらん 夜の星を 他	○	○	○	<p>A 創意工夫を生かした歌唱および器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能、及びアンサンブルの表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、歌唱や器楽で表している。</p> <p>B 音楽を形作っている諸要素を知覚し、それらの動きを感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</p> <p>C 曲想と音楽の構造や楽器の音色・奏法との関わり、及び他者との調和や表現形態の特徴を生かして演奏することに関心をもち、主体的・協働的にアンサンブルの学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>授業への取り組み</p> <p>演奏</p> <p>課題取り組み</p>
	後期末考査									

4 評点の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a				
b				
c				
計	0	0	0	0

※変更がある場合は、教科担任が事前に連絡します。

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

・年間を通してリズム学習(リズム聴音、リズム創作)をします。